

- 問1 滋賀県では「びわ湖材」の利用を広めるため、行政、企業、住民が連携した様々な活動が行われています。この取り組みの具体例として、地域の経済や環境に配慮した最も適切な活動はどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地元の企業が「びわ湖材」を用いた学校用の机や椅子を開発し、県がその製品の導入や購入を支援することで、地域内での資源循環を図る活動。 | 2. 森林の保護を最優先するため、県内での木材の伐採を法律で厳しく制限し、必要な木材はすべて県外や海外から調達する活動。 | 3. 全国植樹祭などの行事を通じて木を植えることだけを強調し、成長した木については一切利用せずに放置しておく活動。 | 4. 「びわ湖材」という名称を使いながらも、実際にはコストの低い外国産の木材を混ぜて製品化し、販売利益を最大化する活動。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本の国内輸送において、1960年には旅客輸送の分担率がわずか0.3%であったものの、2014年には6.3%まで上昇した交通機関があります。この交通機関は貨物輸送の重量ベースでの割合は0.3%と極めて小さいですが、IC（集積回路）などの製品輸送に利用されています。この交通機関として最も適切なものを選択してください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 航空輸送 | 2. 自動車輸送 | 3. 鉄道輸送 | 4. 船舶輸送 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問3 日本の工業において、九州地方が「シリコンアイランド」、東北地方の高速道路沿いが「シリコンロード」と呼ばれるようになった要因として、共通する工業製品の立地上の特徴を説明したものを選びなさい。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 水資源を大量に消費するため、地下水が豊富な山間部のふもとに立地している | 2. 広大な土地を必要とするため、地価の高い都市部を避けて沿岸の埋立地に立地している | 3. 原料が安価で重いため、輸送コストを最小限に抑えられる貿易港の周辺に立地している | 4. 空港や高速道路のインターチェンジ周辺に立地し、トラックや航空機による輸送を活用している |
|--|--|--|--|
- 問4 1960年ごろの日本の輸入は原綿などの原料が中心でしたが、2020年には「機械類」の輸入割合が約27%にまで高まっています。このように、日本が製品である機械類を多く輸入するようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 食料自給率が100%に達したこと、それまで食料輸入に充てていた費用をすべて機械の購入に回したため | 2. 日本企業の生産拠点が海外へ移転し、現地で製造された製品や部品を日本へ送る「製品輸入」が増えたため | 3. 国内の石炭や石油などのエネルギー資源が豊富に採掘されるようになり、燃料の輸入が不要になったため | 4. 1960年代から続く繊維工業のさらなる発展により、世界中から紡績用の大型機械を買い集めているため |
|---|---|--|---|
- 問5 1980年代から2040年までの人口推移のデータにおいて、日本の15歳から64歳の人口層は1990年代にピークを迎えた後、減少が続いています。このような人口構造の変化をもたらしている現代日本の社会現象と、その影響について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| 1. 少子高齢化の進行により、将来的な労働力の不足が懸念されている。 | 2. 老年人口の割合が低下したことで、社会保障制度の維持が容易になっている。 | 3. 高度経済成長による人口爆発により、食料自給率の低下が課題となっている。 | 4. 年少人口の急増により、学校などの教育施設の不足が問題となっている。 |
|------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
- 問6 島根県の石見銀山では、16世紀に「灰吹法」と呼ばれる新しい精錬技術が導入されたことで生産量が飛躍的に増加しました。この出来事が当時の日本や世界に与えた歴史的背景・影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鉄を精錬する技術が銀の精錬に応用されたことで、石見地方は日本最大の鉄砲生産地となり、戦国時代の合戦の形態を大きく変えた。 | 2. 銀の精錬に大量の石炭が必要となったため、周辺の島根県一帯で炭鉱開発が進み、日本におけるエネルギー革命の先駆けとなった。 | 3. 大量の銀が産出されたことで、江戸幕府は世界で初めて金・銀・銅の三貨制度を確立し、鎖国下でも国内だけで完全に自給自足の経済を実現した。 | 4. 銀の生産効率が向上したことで、日本産の銀がアジアやヨーロッパとの交易における主要な支払い手段となり、世界経済に大きな影響を与えた。 |
|---|--|---|--|
- 問7 長野県などの山間部で見られる林業の現状について、高度経済成長期以降の社会状況と関連付けた記述として正しいものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. バイオマス発電への転換により木材価格が急騰し、林業に従事する若者が都市部から大量に流入した。 | 2. 林業の機械化が完了したことで、人手を使わずにすべての木材を安価に生産できるようになった。 | 3. 木材の輸入が厳しく制限されたため、国内の森林資源の活用が急速に進んだ。 | 4. 木材価格の低迷や過疎化・高齢化の影響で、手入れが行き届かない森林が増加した。 |
|---|---|--|---|
- 問8 1970年代には天然ゴムや魚介類が中心であったタイから日本への輸入品目について、2018年の統計で最も大きな割合を占めるようになり、タイの工業化を象徴している品目は何ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 衣類および繊維製品 | 2. 原油および天然ガス | 3. 鉄鋼および非鉄金属 | 4. 機械類や自動車部品 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問9 モンゴル、ボリビア、日本の3か国における輸出額の品目別割合を比較したとき、各国の産業構造の特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. モンゴルは石炭や銅鉱、ボリビアは天然ガスといった鉱産資源が輸出の主軸であり、日本は自動車などの工業製品の割合が高い。 | 2. モンゴルは機械類、ボリビアは自動車といった工業製品が輸出の主軸であり、日本は天然ガスなどのエネルギー資源の割合が高い。 | 3. モンゴルとボリビアは小麦や大豆などの農産物が輸出の主軸であり、日本は石炭や銅鉱といった鉱産資源の割合が高い。 | 4. 3か国とも共通してサービス貿易の割合が最も高く、工業製品や鉱産資源の輸出額は極めて限定的である。 |
|---|--|---|---|
- 問10 日本の現代社会における流通の課題について述べた次の文の空欄にあてはまる用語を選びなさい。「宅配便の取扱個数が増加し続ける一方で、労働環境の改善を目指す法律によって、一人あたりの労働時間に制約が生じ、物流が滞る懸念がある。この課題は（ ）と呼ばれている。」 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|------------|--------------|---------------|
| 1. デジタル・デバイス | 2. 限界集落の拡大 | 3. 高度経済成長の終焉 | 4. 物流の2024年問題 |
|--------------|------------|--------------|---------------|
- 問11 大阪から那覇までの貨物輸送を検討する場合、航空機を利用すると数時間で到着しますが、船舶を利用すると1日以上時間を要します。それにもかかわらず、鉄鋼や機械類などの輸送に船舶が多用される理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 沖縄県には大型機が着陸できる空港がなく、船舶以外の輸送手段が物理的に存在しないから。 | 2. 鉄鋼やセメントは、輸送に時間がかかるほど品質が安定するという特性を持っているから。 | 3. 重量のある貨物を航空機で運ぶと、積載量の制限や燃料費の関係で輸送コストが極めて高くなるため。 | 4. 船舶は航空機に比べて一度に運べる貨物の量が少ないため、小回りの利く輸送が可能だから。 |
|---|--|---|---|